

警 城 時 報

行 發 日 六 廿
編 輯 兼 發 行 人 岡 田 弘 成
印 刷 所 警 城 時 報 社
發 行 所 警 城 時 報 社
一 部 金 貳 圓 一 月 金 貳 圓
廣 告 料 一 行 十 四 字 貳 十 五 錢
日 刊 日 曜 祝 祭 日 翌 日 休 刊

常磐礦區に東漸する 磐城、入山で新礦區

常磐炭田の石炭礦區は現在石城項次の通り
地方を縦走して採掘されてゐる
が、新礦區は海岸方面進出以外
に余地なく磐城炭礦では過般湯
本町東部水野谷に斜坑を開鑿し
玉川、小名瀧方面に掘進を續け
てゐるが、更に同礦では平市を
經て飯野村方面に進出計をた
てゝ、外最近では鹿島村に四
十萬二千坪の試掘の許可容積
を見、更に入山炭礦でも夏井、
高久兩村に跨る七十三萬四千坪
の試掘許可を得る等常磐礦區は
東漸しつつある事は注目し得る

警防團長會議

平警防團の秋期檢閲は十一月二
日平警防團長會議の協議事
平警防團長會議の協議事
十月十日平警防團長會議の協議事

縣下水道協會 今明兩日平市に開く

縣下水道協會平市部は福島、
若松、郡山、小名瀧、二本、
倉、江名、中村、本宮、二本松
須賀川、坂下の四市九町事務技
術員の會同は二十六日午前九時
から平市商業學校で、二十七日
は市公會堂に於て催される。協
議は主として技術上の相互研究
事務取扱ひに關するもので、出
席約三十名と見られ、二十七日
は午前中に議了後一行片瀧視察
第三小學校で行ふ

縣下籠球 平市豫選會

町三二大井川準之助(二)君は
お小遣を金二圓を市統後奉
公會へ、一圓九十二錢を國防
として市役所へ寄附▲平第一小

四倉町の 興亞奉公日

四倉町に於ては十一月一日の興
亞奉公日を期して在郷軍人分會
十一月二日、三日兩日平商業學
各青年團等が午前六時鎮守講
堂で舉行する

東西女子青年團で 高齡者慰安

平市東部四部青年團女子部は學
校五ノ二生徒一同で五十錢を
聯合して二十七日午前十時
市公會堂で敬老會を催し八十
以上の高齡者、出征軍人遺家
を招待し第二小學校兒童の舞
劇等を観覧させる

四校競技會 平市内四

小學校對抗競技會は二十八日平
第三校で舉行するが参加は第五
以上の選手である

四小學校對抗 球技大會

平市四小學校對抗球技大會は十
一月二十日午前九時から平第三
小學校で舉行する

寄附と献金 市内材木

町三二大井川準之助(二)君は
お小遣を金二圓を市統後奉
公會へ、一圓九十二錢を國防
として市役所へ寄附▲平第一小

◎他店で御氣に召さぬ時
は是非一度
弊店はほんとうの
純ドライクリーニング
機械を使用致します。
正確なる仕事と優秀な
技術を誇ります。一方は
平田町の
白樂舎 ランドリー

神社前に集合し臣道實踐の實
をあげるべく左の行事を實行す
ることと成つた
一、出征勇士の武運長久祈願
二、軍人に賜ひたる勅語拝讀

平市各校 教員体育大會

四倉町内四小學校教員体育大會は
十一月二日、三日兩日平商業學
各青年團等が午前六時鎮守講
堂で舉行する

佛印軍の日常

佛印派遺軍 保坂茅三君通信
萬(安南)人佛人五千名程にて
フランス、安南と二手に分た
れ銀座以上の賑はひに存じ候
當市ではバナナ十錢にて二十
粒以上の餘成りのを買ふ事が
出来、毎日飯の變りにはオ
ヤツに飲食し居り候、小生は
九月二十三日潜水艦並に驅
逐艦に護送されつゝ二十四日
未明〇〇にて敵前上陸を敢行
し我々は隊列一期に佛兵陣地
を占領し佛兵を武装解除し
候、當ハイフオ(佛印)に居り

佛印派遺軍 保坂茅三君通信

萬(安南)人佛人五千名程にて
フランス、安南と二手に分た
れ銀座以上の賑はひに存じ候
當市ではバナナ十錢にて二十
粒以上の餘成りのを買ふ事が
出来、毎日飯の變りにはオ
ヤツに飲食し居り候、小生は
九月二十三日潜水艦並に驅
逐艦に護送されつゝ二十四日
未明〇〇にて敵前上陸を敢行
し我々は隊列一期に佛兵陣地
を占領し佛兵を武装解除し
候、當ハイフオ(佛印)に居り

佛印派遺軍 保坂茅三君通信

萬(安南)人佛人五千名程にて
フランス、安南と二手に分た
れ銀座以上の賑はひに存じ候
當市ではバナナ十錢にて二十
粒以上の餘成りのを買ふ事が
出来、毎日飯の變りにはオ
ヤツに飲食し居り候、小生は
九月二十三日潜水艦並に驅
逐艦に護送されつゝ二十四日
未明〇〇にて敵前上陸を敢行
し我々は隊列一期に佛兵陣地
を占領し佛兵を武装解除し
候、當ハイフオ(佛印)に居り

佛印派遺軍 保坂茅三君通信

萬(安南)人佛人五千名程にて
フランス、安南と二手に分た
れ銀座以上の賑はひに存じ候
當市ではバナナ十錢にて二十
粒以上の餘成りのを買ふ事が
出来、毎日飯の變りにはオ
ヤツに飲食し居り候、小生は
九月二十三日潜水艦並に驅
逐艦に護送されつゝ二十四日
未明〇〇にて敵前上陸を敢行
し我々は隊列一期に佛兵陣地
を占領し佛兵を武装解除し
候、當ハイフオ(佛印)に居り

平市西部青年團 二十キロの行軍

平市西部青年團では二十七日午
前八時半警備隊列車で川前驛に
至り同所から平市まで二十キ
ロの行軍を行ふが、参加三十名
である。
英靈凱旋 四倉町原田
上等兵菊田正君は去る六月二十
三日中支戦線に於て名譽の戦死
をしたが、来る十一月二日午後
四倉町青年學校約百五十名余の
六時五分四倉驛着無言の凱旋を
より同町小學校庭に於て福島聯

香水を振って赤ネクタイ

佛印派遺軍 保坂茅三君通信
萬(安南)人佛人五千名程にて
フランス、安南と二手に分た
れ銀座以上の賑はひに存じ候
當市ではバナナ十錢にて二十
粒以上の餘成りのを買ふ事が
出来、毎日飯の變りにはオ
ヤツに飲食し居り候、小生は
九月二十三日潜水艦並に驅
逐艦に護送されつゝ二十四日
未明〇〇にて敵前上陸を敢行
し我々は隊列一期に佛兵陣地
を占領し佛兵を武装解除し
候、當ハイフオ(佛印)に居り

佛印派遺軍 保坂茅三君通信

萬(安南)人佛人五千名程にて
フランス、安南と二手に分た
れ銀座以上の賑はひに存じ候
當市ではバナナ十錢にて二十
粒以上の餘成りのを買ふ事が
出来、毎日飯の變りにはオ
ヤツに飲食し居り候、小生は
九月二十三日潜水艦並に驅
逐艦に護送されつゝ二十四日
未明〇〇にて敵前上陸を敢行
し我々は隊列一期に佛兵陣地
を占領し佛兵を武装解除し
候、當ハイフオ(佛印)に居り

佛印派遺軍 保坂茅三君通信

萬(安南)人佛人五千名程にて
フランス、安南と二手に分た
れ銀座以上の賑はひに存じ候
當市ではバナナ十錢にて二十
粒以上の餘成りのを買ふ事が
出来、毎日飯の變りにはオ
ヤツに飲食し居り候、小生は
九月二十三日潜水艦並に驅
逐艦に護送されつゝ二十四日
未明〇〇にて敵前上陸を敢行
し我々は隊列一期に佛兵陣地
を占領し佛兵を武装解除し
候、當ハイフオ(佛印)に居り

佛印派遺軍 保坂茅三君通信

萬(安南)人佛人五千名程にて
フランス、安南と二手に分た
れ銀座以上の賑はひに存じ候
當市ではバナナ十錢にて二十
粒以上の餘成りのを買ふ事が
出来、毎日飯の變りにはオ
ヤツに飲食し居り候、小生は
九月二十三日潜水艦並に驅
逐艦に護送されつゝ二十四日
未明〇〇にて敵前上陸を敢行
し我々は隊列一期に佛兵陣地
を占領し佛兵を武装解除し
候、當ハイフオ(佛印)に居り

佛印派遺軍 保坂茅三君通信

萬(安南)人佛人五千名程にて
フランス、安南と二手に分た
れ銀座以上の賑はひに存じ候
當市ではバナナ十錢にて二十
粒以上の餘成りのを買ふ事が
出来、毎日飯の變りにはオ
ヤツに飲食し居り候、小生は
九月二十三日潜水艦並に驅
逐艦に護送されつゝ二十四日
未明〇〇にて敵前上陸を敢行
し我々は隊列一期に佛兵陣地
を占領し佛兵を武装解除し
候、當ハイフオ(佛印)に居り

勿來の賭博 勿來町高

井鎮夫前科八犯遠藤三(五五)
同人妹舟木せき(四七)内郷村片
山きく(六六)の女流りの廿余
所を撰ぶ状態に御座候、身に
著けて居る銃、頭にも赤さび
て光り居り候、銃も赤さびに
顔にクリームを塗り胸に赤色
のネクタイを結び、香水をか
け、斯様な状態にて皇軍と
満足な戦陣も出来ずと羽員一
同果れ赤面の致りに存じ候
の事と思ひ候はゞいづれ機
を見て詳細に御通知致度
先は久々振り廻り御機嫌伺ひ
旁々住居通知まで(木村守江
氏宛)

平驛十月成績

平驛に於ける十月月上旬の貨物は
特殊貨物が急減して昨年前期の
發送七〇〇噸に下つたのと、河
川の流量が豊富な爲めに磐城炭
礦平發電所の燃料炭所必要量を減
した等の結果
發送二〇二九噸(二四一〇)三
八一噸減、到着二六五一噸(二
四三三)一五七九噸減、收
入六五七二圓(九三六七)圓(二
七九六)圓減、括弧内は前年同
期

自動車を 胴を轆かる

哀れ幼兒即死
二十一日午前十時頃赤井村日置
にある、中旬の成績も上月に大差
のないで十月収入は本年度初め
の減少だと悲觀されてゐる。

自動車を 胴を轆かる

哀れ幼兒即死
二十一日午前十時頃赤井村日置
にある、中旬の成績も上月に大差
のないで十月収入は本年度初め
の減少だと悲觀されてゐる。

自動車を 胴を轆かる

哀れ幼兒即死
二十一日午前十時頃赤井村日置
にある、中旬の成績も上月に大差
のないで十月収入は本年度初め
の減少だと悲觀されてゐる。

自動車を 胴を轆かる

哀れ幼兒即死
二十一日午前十時頃赤井村日置
にある、中旬の成績も上月に大差
のないで十月収入は本年度初め
の減少だと悲觀されてゐる。

最近の農村の位置

それら等がなければ、やがて
捕へてあるならば何と云うま
く話もあるのだらうか、夜
一回味喰(野菜)のごつた蜜
みたいなものをつくるのが
せいぜいの馳走で、ふだんは
醤油(醬油)を作つた残り
を混ぜたものとか、油
麩とかが主要な副食となつ
てゐる彼等の食事にあつては
それは單に空腹を満たすとい
ふだけのものでは、決してそれ

最近の農村の位置

それら等がなければ、やがて
捕へてあるならば何と云うま
く話もあるのだらうか、夜
一回味喰(野菜)のごつた蜜
みたいなものをつくるのが
せいぜいの馳走で、ふだんは
醤油(醬油)を作つた残り
を混ぜたものとか、油
麩とかが主要な副食となつ
てゐる彼等の食事にあつては
それは單に空腹を満たすとい
ふだけのものでは、決してそれ

最近の農村の位置

それら等がなければ、やがて
捕へてあるならば何と云うま
く話もあるのだらうか、夜
一回味喰(野菜)のごつた蜜
みたいなものをつくるのが
せいぜいの馳走で、ふだんは
醤油(醬油)を作つた残り
を混ぜたものとか、油
麩とかが主要な副食となつ
てゐる彼等の食事にあつては
それは單に空腹を満たすとい
ふだけのものでは、決してそれ

最近の農村の位置

それら等がなければ、やがて
捕へてあるならば何と云うま
く話もあるのだらうか、夜
一回味喰(野菜)のごつた蜜
みたいなものをつくるのが
せいぜいの馳走で、ふだんは
醤油(醬油)を作つた残り
を混ぜたものとか、油
麩とかが主要な副食となつ
てゐる彼等の食事にあつては
それは單に空腹を満たすとい
ふだけのものでは、決してそれ

最近の農村の位置

それら等がなければ、やがて
捕へてあるならば何と云うま
く話もあるのだらうか、夜
一回味喰(野菜)のごつた蜜
みたいなものをつくるのが
せいぜいの馳走で、ふだんは
醤油(醬油)を作つた残り
を混ぜたものとか、油
麩とかが主要な副食となつ
てゐる彼等の食事にあつては
それは單に空腹を満たすとい
ふだけのものでは、決してそれ

